

科学技術テーマに 中高生「社会討論」



大阪・兵庫の59人参加 島本で開催

中学生、高校生が研究発表と討論を行
った「第11回社会討論」

＝島本町立第一中学校



大阪や兵庫の中学生、高
校生が社会のさまざまな事
象について研究発表と討論
を行う「第11回社会討論」
が20日、「科学技術の発展
は人類を幸せにするか？」
をテーマに島本町立第一中
学校で開催された。10校の
生徒59人が参加して、プロ

の是非について話し合っ
た。 グラミング教育やiPS細
胞、AI(人工知能)開発

討論会は有志の教員が中
心となって呼びかけて始ま

り、今年で5年目。これま
でに「参院選の争点と課
題」や「上方芸能」などを
テーマに開催。生徒が主体
的に学ぶアクティブ・ラー
ニングを実践している。
参加したのは、同校のほ
か大阪市立咲くやこの花中
・高、同歌島中、大阪教育
大附属池田中・高、豊中市
立第十六中、清風中・高、
神戸大附属中等教育学校。
発表では、島本第一中が
「プログラミング教育と道
徳教育」と題し、道徳教育
の教科化とセットにしたう
えで、楠木正成の人格をモ
デルにIT関連教育を受け
る基準作りをするよう大胆
提案。また清風中・高校は
NIE研究会が「人間社会

の管理をAIに任せてよい
のか？」として意見発表。
幸せの定義づけや、AIを
道具として位置づける必要
性を訴えた。その後各校の
生徒が入り交じって、科学
技術の是非などについてグ
ループ討論を繰り広げた。